城陽市空き家バンク補助金制度の見直しについて

1. 概要

空き家バンクの登録促進を図るため、現行の「空き家バンク補助金制度」を見直し、「空き家バンク登録促進補助金制度」へ移行するもの。

2. 経過

従来の空き家バンク補助金制度においては、「空き家を利活用して定住する方」の増加を目標としていたが、累計113人の転入者があった一方で、宅建業者の仲介物件の登録があるものの、本市に個別登録される物件が無い状況である。

また、少子高齢化の進展により、今後、空き家のさらなる増加が想定されることから、流通されていない空き家の掘り起こしに向け、制度の見直しを行うもの。

見直しに当たっては、過年度に空き家所有者に行ったニーズ調査結果において、空き家の利活用に向けた困りごとの中で、空き家内の所有物や荷物の整理が出来ないとの回答が最も多かったことから、「空き家バンクの登録促進」を目標に、空き家の家財道具処分等に支援する補助金制度へ移行するもの。

3. 制度名称

現行：城陽市空き家バンク補助金制度

新規：城陽市空き家バンク登録促進補助金制度

4. 新規補助金制度の運用開始日

令和7年4月1日

5. 補助金対象者

現行：協力企業が仲介される物件を購入又は賃借した者

新規：空き家の清掃又は家財道具の処分をした者で下記の要件を全て満たす者

①本市空き家バンクに2年以上登録（流通するまで）

②本市と協定を締結する京都府宅地建物取引業協会
会員の宅地建物取引業社と媒介契約すること

6. 補助金額

現行：購入10万円 賃借1万円

※転入者等の要件を満たす場合 購入20万円 賃借
2万円に拡充

新規：空き家の清掃又は家財道具の処分に係る費用の2分の
1（補助限度額10万円）